

# しめのひとこと

志免町のいろんなひと、いろんなことをお伝えします！

19

これからの  
活動を考える

図書館と一緒に

## 図書館ボランティア 布えほんの会

ごとう ひでこ  
右) 後藤 秀子

こば とみこ  
左) 古場 富子



1997年4月に発足し活動26年目。現在7名で活動中です。  
布絵本や布おもちゃ、その他にも図書館や町内施設を飾るタペストリーを多数制作しています。細やかな手仕事で作品が出来上がったときは嬉しく、たくさんの方に見てもらえることを願い、日々頑張っています。

### 今のメンバーが、布えほんの会に入るきっかけ

団体の発足は1997年(平成9年)4月なので、25年以上活動しています。発足当時のことをよく知る人はもういないのですが、図書館主催の布絵本講座の参加者が集まって、活動が始まったと聞いています。今は月2回、月曜日に7名で活動しています。子育てや仕事で時間的余裕がない頃には、こうした活動に参加することは全く考えていなかったけれど、自分の自由な時間ができたことや、もともと縫い物や布の小物づくりが好きだったこと、布のおもちゃなどを作って子どもたちに喜んでもらいたいと思ったことなどが、今いるメンバーの参加のきっかけのようです。

ボランティア活動をする際に、好きだからやってみよう、これならできそうという気持ちは大事ですよ。布の絵本やおもちゃは、子どもたちが遊ぶときにケガをしないし、安全なところも気に入っています。

### 今までの活動と子どもたちの様子

「布えほんの会」という団体名ですが、布絵本のほかにも、エプロンシアター(エプロンを舞台に見立て、ポケットから人形を出したり、貼りつけたりしながら演じる、エプロンの人形劇)なども多く制作してきました。

最近では、各小学校で募集している図書館主催の川柳コンテストの入選作品をタペストリーに仕上げたり、町内各所に飾る「シメツチャ」のタペストリーを制作したりしました。コロナ禍でしばらく開催していませんが「こどもとしょかんまつり」では、作品を展示する以外にも、子どもたちが作れる簡単な制作キットをメンバーで考えて準備していました。フェルトで作った魚をつかった釣りも大人気で、子どもたちは遊びながら、魚の名前も一緒に覚えていました。何回も遊びにくる子もいて、子どもたちが布の絵本やおもちゃを通じて、お話の世界に親しんでいる様子を見ると、とてもうれしく、次の制作物へのやりがいにもつながっていました。



▲ 丁寧に作られた布絵本



## まずは著作権の確認から 布絵本ができるまで

布絵本にしたい本を選んだら、必ず出版社に連絡し制作の許可が必要です。図書館職員の方をお願いして、布絵本作成にあたっての著作権の確認などを進めてもらい、出版社からの許可が出て初めて布絵本を製作できるのです。

以前は図書館が主催する布絵本講座が年に1回あり、準備と講座の講師を「布えほんの会」が務めていました。8～10回の講座で布絵本を仕上げられるように、まずは段取りや材料の必要数や手順の確認をしながら、メンバーで試作をします。

各自で分担して作り方を持ち寄り、製作工程の改良を重ねながら、教えやすく作りやすい方法を確認していました。講座参加者20人分を、細かいパーツや糸なども含め準備するのは大変な作業でした。福岡市の公民館主催講座にも講師としても呼ばれ、1年で作り上げるような講座を受け持ったこともありました。大変ながらも、試行錯誤しながら、良い布絵本を作り上げていき、出来上がった時には大きな喜びがありました。その後、予算縮小のため図書館主催の布絵本講座がなくなり、しばらく布絵本の制作からは遠ざかっていましたが、新しい布絵本を作りたい気持ちはずっとありました。



## 図書館30周年の節目に、 これからの活動を考えました！

図書館開館30周年を迎えるにあたり、まちづくり支援室の協力を得て、図書館職員の方と今後の活動について話をしました。図書館からは布絵本や、夕

ペストリーなどの作品を通じ、町民の方に本や図書館への興味、親しみ、本を大事にする気持ちを持ってもらう機会になっていきますと、感謝の言葉をいただきました。また、年に1冊など無理のない範囲で布絵本の制作に取り組むのはいかがでしょうかとご提案もいただきました。図書館と協力しながら、新たな布絵本製作活動が始められそうです。



## 活動を知る人を増やしたい。 縫い物好きな方、ご参加ください！

活動のことを日常会話の中で話題にしていたら、自然と会の活動に興味を持ってきて、町内会の集まりで声をかけた方が新メンバーとして活動することもあります。町内に「布えほんの会」の活動を知っている人がもっと増えるとメンバーも増えていくのかなと感じます。そのためには積極的に活動を話題にしていきたいですね。また、長く続いている会は、人間関係が出来上がっているだろうから、途中からは参加しにくいと感じてしまう方もいるかもしれません。縫物や手仕事が好きな方でしたら、楽しく活動を続けられますし、今いるメンバーは新しく参加する方が疎外感なく活動できるように心がけたいと考えています。工夫を重ねて、良いものを作り上げる楽しみや達成感を、みんなで感じながら活動が継続できたらうれしいですね。



## 取材を終えて

会の活動の紹介を、日常の中で何気なく話題にされている様子は、メンバー減少に悩む他の団体の参考になりそうです。ぜひ多くの町民の方に会の活動を知っていただき、今までの作品にも触れてほしいと感じました。

